

豪雪の教訓を活かす

平成18年



雪捨て場に残る壊れた自転車、折れたスコップ、一面の石とごみ(八橋の多目的グラウンド)

平成十八年豪雪”。私たちに多くの試練を与え、そして多くの教訓を残しました。その教訓を活かすべく、市は新たな取り組みを始めます。

みんなで乗り越えた

かつて経験した 四八豪雪 をしのぐ記録的な大雪は、平成十八年豪雪」と名付けられ、私たちの記憶に深く刻まれました。

豪雪の勢いは、市が備えていた雪対策機能をはるかに超え、交通障害、家屋の損壊やビニールハウスの倒壊など、市民生活に深刻な影響をおよぼしました。除排雪の経費は約三三億円にのぼり、市の厳しい財政状況をさらに圧迫する結果となりました。多くの被害があった中で、この試練を乗り越えることができたのは、市民のみなさんの「力を合わせて乗りきるんだ」という強い気持ちがある

今も残る豪雪の傷跡

大雪の傷跡は、初夏を迎えようとする今でも痛々しく残っています。雪捨て場となったグラウンドや街区公園で、雪が解けて姿を現したのは、自転車、コンクリート片、木材、

つたからこそです。町内の協力で行ってもらった共同除雪、地域が一丸となった吹雪の中での通学路の確保、お年寄り宅などへの除雪ボランティア、業者のかたがたの除排雪作業への協力など、その気持ちはさまざまな形で表れ、地域の連帯感、秋田市民としての連帯感は強いものとなりました。

安全安心対策推進本部

tel(866)2148

ファクス(866)2162

除排雪の改善、子どもの安全確保、バリアフリー向上など、安全で安心なまちづくりを進めるため、4月に新設しました。



雪の重みで無惨な姿に(保戸野八丁公園)



真ん中からボキリ(仁井田目長田児童遊園地)



集まったごみ(土崎市民グラウンド)

今冬、雪捨て場となった街区公園は市内649か所。雪の重みで多くの遊具が壊れてしまいました。グラウンドには大きな石やごみが散乱。復旧には、長い時間と多額の費用がかかります。公園でケガなどしないよう、くれぐれもご注意ください。



5月16日の感謝状贈呈式で

融雪に協力してくれた 団体に市から感謝状

堆雪場に残った雪を重機でかくはんするなど、ボランティアで融雪に協力してくれた団体に、市から感謝状をお贈りしました。

ありがとうございました!

(社)秋田市建設業協会 (社)秋田市造園協会 (株)加賀屋組 (株)三勇建設 (株)工藤興業 工藤建設(株)



平成18年度の 除排雪業者と オペレータを募集

この冬の道路除排雪作業を受託して下さるかたを募集します。

申込用紙は、道路維持課(寺内字蛭根85-9)のほか、市ホームページからも入手できます。

対象

除雪機械を所有している業者
除雪機械のオペレータ資格がある個人

受け付け

6月5日(月)から16日(金)まで、
道路維持課ゆき担当tel(864)3643

新しい取り組み

この豪雪は、市が抱える多くの課題を浮き彫りにしました。市では、市民のみなさんからお寄せいただいた貴重な意見を参考に、豪雪の教訓を活かすべく、新しい取り組みを始めます。

除排雪計画の見直し…除雪車の出

砂利、空き缶など、決して解けることのないごみ…。遊具は雪で壊れ、ガラスの破片が散らばる公園からは、子どもたちの歓声は聞こえませんが、公園やグラウンドなどの復旧には、約四億円もかかる見込みです。雪と一緒に捨てられたごみの数々は、マナーを守ることの大切さを無言で訴えているようです。

動基準や、除雪する道路の優先順位の決め方などを根本から見直し、具体的かつ明確に定めます。

除雪車両口ケーショシステムの試験的導入…みなさんからの問い合わせで大半を占めたのが、「いったい、いつ除雪車がくるのか」。そのため、GPS(人工衛星)を活用した位置情報システムを利用して除雪車の現在位置を正確に把握し、市民のみなさんに情報提供することを考えています。併せて、除排雪に関して利用できるサービス、除雪マナーなど、市民生活に役立つ情報を積極的に提供していきます。

除排雪車両オペレータの技術向上…「除雪がヘタ」「技術のレベルがバラバラ」など、除排雪の技術向上を望む声も数多くありました。この

ため、来期に備え、ロータリ除雪車の技術講習会を四月に開催。今後も技術講習や他都市の例を参考に、除雪技術の総合的なレベルアップをめざし、多角的に向上策を研究していきます。



4月26日に行われた除雪車の技術講習会
(新屋の秋田防災ステーション)